

設計系科目のフレーム (学部・大学院)

学部

卒業設計

大学院

修士設計

学年 B1 B2

B3 B4

M1-2

必修科目

コア・スタジオ (基礎修得段階) 一級受験者推奨

アドバンスト・スタジオ (高次発展段階)

計画系推奨 (卒業設計選択者必須) (※計画設計スタジオ2・3のうち少なくともひとつを履修)

授業科目

目標 (C)	目標 (C), (D)	目標 (C), (D)	目標 (C), (D)
建築製図基礎	建築設計 1	建築設計 2	建築設計 3

目標 (C), (D)	目標 (C), (D)	目標 (C), (D)
計画・設計スタジオ 1	計画・設計スタジオ 2	計画・設計スタジオ 3

IKUTA 目標 (J), (K)	設計スタジオ A	設計スタジオ B	設計スタジオ C
I-AUD 目標 (I), (J), (M), (N)	Adv. DS A	Adv. DS B	Adv. DS C

学習目標

<ul style="list-style-type: none"> 建築製図の基礎知識と技法の理解 基本的な作図方法および表現技法の理解 図面による情報伝達手法と表現方法の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 建築図面の読み方・書き方の基礎的理解 建築図面の作図・表現技法の基礎的修得 建築の空間構成、周辺環境との関係、構法に関する基礎的理解 初歩的な課題による設計プロセスの理解 	<ul style="list-style-type: none"> 建築図面の読み方・書き方の基礎的理解 建築図面の作図・表現技法の基礎的修得 建築の空間構成、周辺環境との関係、構法を踏まえた設計スキルの基礎的修得 設計プロセスの修得 プレゼンテーション能力の修得 	<ul style="list-style-type: none"> 建築設計の基礎力の習得 図面読解・描画能力 (3次元リテラシー) の確実な習得 敷地および周辺環境を解説し、設計に反映させる基礎力の理解と習得 建築計画の基礎を理解し、与条件を前提に設計する基礎的能力の習得 設計プロセスの理解に基づき、スタディを進める基礎的能力の習得 構造設計・設備設計に関する基礎的知識の習得
--	--	--	---

<ul style="list-style-type: none"> 計画・設計スタジオ 1 建築設計能力の発展のために基盤となる能力の習得 敷地および周辺環境を調査・分析して解説し、設計に反映させる力の習得 与条件を前提に、合理的な建築計画をまとめる能力の習得 構造設計に関する基礎的能力の習得 (構造形式の選択、形態と力の流れ) 形態言語を豊富化し、3次元の空間像を伴うデザインにまとめる能力の修得 設計提案を的確に表現・伝達する能力の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 建築設計能力の発展のために必要となる能力の習得 設計に関わる与件を前提に、説得力のある設計をまとめる能力の習得 設計提案を的確に表現・伝達する能力の習得 建築に関わる多様な価値を前提に、周辺領域の展開を視野に入れた、発展のために有用な専門的能力の習得 <p>このため、以下の獲得目標を掲げる複数のスタジオを設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 複数の機能の関連性を的確に把握し、複雑な設計条件を解決しつつ設計を行う能力 ディテール、材料、組み立て方などを踏まえつつ、小さなスケールの空間やプロダクトの設計を行う能力 意匠・構造・設備それぞれの分野の知識を総合し、合理的かつ美的配慮に富む設計を行う能力 クライアントやユーザーの意見を集約し、的確な設計提案としてまとめる能力 既存の都市や建築のコンテキストを解説し、問題解決のための有用な設計提案をまとめる能力
---	---

<ol style="list-style-type: none"> 国際的視野に立つて建築設計能力の発展のために必要となる能力の習得 持続型社会における設計に関わる与件を前提として、説得力のある設計をまとめる能力の習得 多様な図面や言語を駆使し、設計提案を的確に表現・伝達する能力の習得 複数の国や地域に存在する建築に関わる多様な価値を前提に、周辺領域の展開を視野に入れた、発展のために有用な専門的能力の習得 建築・都市設計の実務に必要な法規を理解し、基本計画、基本設計、実施設計レベルの図面を制作する能力の習得 意匠に加え、構造設計や環境・設備計画の視点を導入し、意匠性、社会性、安全性を満たす高度な建築・都市空間を設計する能力の習得 <p>このため、以下の獲得目標を掲げる複数のスタジオを設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 複数の機能の関連性を的確に把握し、複雑な設計条件を解決しつつ設計を行う能力 ディテール、材料、組み立て方などを踏まえつつ、小さなスケールの空間やプロダクトの設計を行う能力 意匠・構造・設備それぞれの分野の知識を総合し、合理的かつ美的配慮に富む設計を行う能力 クライアントやユーザーの意見を集約し、的確な設計提案としてまとめる能力 既存の都市や建築のコンテキストを解説し、問題解決のための有用な設計提案をまとめる能力
--

造形演習 目標 (C) 選択必修科目

課題構成

2017 年度の課題です。
※計画・設計スタジオ 1 については、2018 年度の課題 (予定) を示しています。

<p>製図の基礎知識と表現技法</p> <p>描線とレタリング</p> <p>物体・空間の図面による表現</p> <p>空間の美測</p> <p>間の伝達</p> <p>図面化の法 (アクサメトリック、パース等)</p>	<p>空間構成 (題材は住居の長屋)</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>コンテキスト・内外空間の関係 (題材はヒルサイドテラス)</p> <p>小空間の設計 6 x 6 x 6 m</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>五反田川沿いの住宅 (街に開いた独立住宅)</p> <p>プレゼンテーション・ドローイン</p> <p>イサム・ノグチ美術館 (地域の小規模美術館)</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>アーバン・スモール・オフィス (積層型の賃貸オフィスビル)</p> <p>ストラクチャル・モデル</p> <p>こどものための空間 (低層の幼稚園)</p>
--	---	---	---

<p>1</p> <p>2</p> <p>これからの集住のかたち (カフェのある中層集合住宅)</p> <p>ランドスケープ (集合住宅作品の住棟周りの外構設計)</p> <p>単位空間をつなぐ (低層の小学校)</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>安部・園田 場所 x 建築</p> <p>佐々木宏・須部</p> <p>都市 x 建築</p> <p>佐々木高・新野</p> <p>身体 x 建築</p> <p>安部・園田 S: 上恩方の場所性とコミュニティ創造のための建築の可能性</p> <p>佐々木宏 S: 食と暮らす ~ 菜市場跡地開発: アーバンデザイン編</p> <p>須部 S: Tokyo Meiji Culture & International Media Center</p> <p>佐々木高 S: 手で思考するリノベーション</p> <p>新野 S: 反復の空間 (好転の美術館)</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>滝口 S: 都市化とインフォーマリテイ Urbanization and Informality</p> <p>小川 S: 防火帯建築の再考 Restructuring of Firebreak Architecture</p> <p>鈴木 (裕) S: 山下埠頭再開発計画 Integral Resort Plan of the Yamashita-Pier</p> <p>小室 S: 旧四谷第五小学校のコンバージョン The Conversion of primary school in the downtown area</p> <p>大内河内 S: 原宿駅改修 / Reconstruction of Harajuku Station</p>
--	--	---

IKUTA	設計スタジオ A	設計スタジオ B	設計スタジオ C
建築 x 交通 x 環境: 大田市場隣接地からのメッセージ	リノベーションによる建築再生とまちづくりー歴史都市小松市の既存資源を題材にして	アジア都市の未来像を目指して (ヤングウオーターフロントの地区の再生)	
I-AUD	Adv. DS A	Adv. DS B	Adv. DS C
Kita Aoyama 3-chome District - Urban Structure and Architecture	Brussels studio: Rehabilitation of a Waterfront	Croatia studio: - Anatomy of Islands - Archipelago of Misaki	Hirose Studio: Digital Design Shirai Studio: Tourism Yoshimura Studio: Adhocism

授業運営方法

・課題は全体で共通 (3次元リテラシーの獲得)

・班分けは行わず全体を指導

・提出物を基準に基づいて評点して達成度を告知

・全体の優秀作品を講評 (獲得すべきレベルの提示)

・課題は全体で共通

・班分けはランダム

・班別講評で全員に発表させ、一定基準に基づき評点して達成度を告知

・各班から 1~2 作品を選抜して全体講評会で講評 (多様な価値軸の提示)

・個性あるスタジオ課題 (多様な価値軸や進路への対応)

・各人の希望を踏まえてスタジオを編成

・班別講評で全員発表、スタジオの目標と基準に基づき評点

・各班から 1~2 作品を選抜して全体講評会で講評 (多様な価値軸の提示)

・地域・地区等と包括的テーマのみを与える出題

・グループワークによるリサーチ、マスタープラン・デザイン方針等の作成

・バックグラウンド (専門性や文化・言語) を異にする学生間のコラボレーション

